

学校だより

令和3年5月26日



第2号

TEL241-2605

甲府市立大里小学校 文責:長谷川和典

修学旅行・林間学校について!

本校では、5/19から6年生が修学旅行で静岡市内の施設に。5/24から5年生が林間学校で北杜市内の施設にそれぞれ1泊2日で宿泊しました。当然のことではありますが、どちらも子供たちにとってとても有意義な体験を得る機会になりました。

親元を離れた子供の様子を寝食を共にして観ると、一人一人のことがよくわかります。普段、学校で見る様子と同じだとうなずけること、或いは、こんな一面もあったのかと意外な驚きや喜びを感じるなどです。いずれにしても、観る尺度の柱は自立する力と表裏の関係にある「生活力」です。「部屋や自分の荷物の整理をきちんとできること」「時間を見て行動できること」などがその一つです。

子供たちは1泊2日のうちにできなかったことができるようになってきます。気付かなかったことに気付くようになります。もちろんこうしたことが元々できる子供は、自分の行動にもっと自信を持つようになります。ただ、子供の変容は、まだ確かなものではありません。1泊2日の宿泊はきっかけであり、定着するまでには時間を要することも考えられます。宿泊体験で培われていく生活力は、当然、自立を支える大きな力となります。1泊2日の宿泊で、「子供たちはこんなに成長しているのに、ここで終わるのはもったいない」と感じることもあります。だからこそ、「自分ができることをしっかりやる。自分がやらなければならないことを確実にやる」を学校と家庭の合い言葉に、今後も指導・支援を重ね、今回の宿泊後の子供たちの成長を見守っていきたいと思います。

【今回の修学旅行や林間学校の様子は、次号で詳しくお伝えします。】

素晴らしいめあてがいっぱいありました!

教室を回っていると子供たちの作品や掲示物などいろいろなものを目にすることができます。

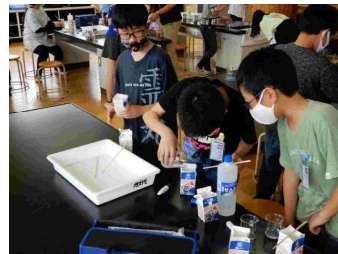


4年生のある教室では、子供たち一人一人が考えためあてが目飛び込んできました。「みんながすごしやすいクラス」「人にやさしくできるクラス」「元気よくあいさつができるクラス」・・・新しい教室で、新たなスタートを切った4年生にとって、どれもピッタリのめあてだと感じました。この一人一人の思いを、ぜひ一年間大切にして仲間と楽しく実りある学校生活を送ってほしいと願っています。



クラブ活動 5/17

子供たちの楽しみにしているクラブ活動も始まりました。今年は12月までの中で5回計画されています。充実した活動となるよう期待しています。



楽しそうに活動する子供たちの表情がとても印象的でした。



2年ぶりの児童総会 5/11

感染症感染拡大防止のため、去年は児童会も十分な活動ができませんでした。年度当初に行う児童総会も紙上での提案となっていました。

今年も感染状況は変わらず、3年生以上の子供たちが一堂に会することはできません。そこで、今年度はZOOMを活用しての児童総会となりました。



今年の大里小児童会のスローガンは、『スマイル・ハッピー・フレンドリー
～夢がいっぱい大里キッズ～』
このスローガンを達成するために

①あいさつプロジェクト

あいさつリレー・あいさつ運動

②なかよしプロジェクト

フェスタ大里2021・フリーニコニコデー

③ぴかぴかプロジェクト

ぴかぴかウィーク・ハンドぴかぴかウィーク

の3つの柱をもとに、児童会本部役員と3年生から6年生までの代表委員が中心となって話し合いを行いました。どの代表委員も、クラス表示のカードを挙げ、指名されるとクラスで話し合ってきた質問や意見を活発に発表していました。各教室でみんなでしっかり話し合ってきた様子がわかりました。

ZOOMでの児童総会でしたが、積極的に話し合いに臨む姿があり、今年度の児童会活動の方針を決めるとても有意義な時間となりました。

今年もコロナ禍にあり、様々な制約がある中での児童会活動となります。できることから、小さなことからコツコツと、自分たちの力で、よりよい大里小をめざして取り組んでいきます。



令和3年度 大里小児童会役員

会長：
副会長：
本部役員：

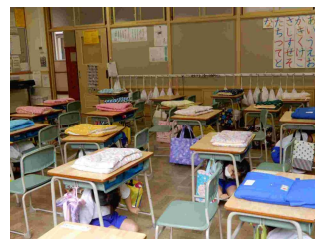
委員会委員長

放送：	保健：
体育：	生活：
図書：	福祉：
栽培：	環境美化：
給食：	

《役員のみなさん、1年間よろしくお願いします!》

避難訓練 5/14

2年ぶりに、全校の子供たちが校庭に避難する避難訓練を行いました。今回は授業中に地震が発生したという想定です。



子供たちには「おかしも」という言葉で避難の心構えを指導しています。これは、落ち着いて、安全に、そして周囲からの指示をよく聞いて避難するという意味です。

災害は、いつ起きるか分かりません。授業中、教室で担任の指示が届く場にいるときだけでなく、休み時間、運動場で遊んでいるときかもしれません。停電で校内放送が使えないかもしれません。常に最悪の場合も想定しておかなければなりません。そのため、学校では「自分の命を自分で守ることができる子供」を育てたいと願っています。

- ・先生の指示が届かなくても、自分の力で周囲の状況を確認し、どこへ避難したら安全か判断する。
- ・高学年の児童は、周りに低学年の児童がいたら、声をかけて避難する。

とっさの場合でも、こんな行動を取ることができる子供たちを目指します。

5/31には引き渡し訓練も予定しています。ご家庭でも、いざというときにどのように行動するか、どこに避難するかなど、是非話題にしてみてください。よろしくお願いします。